

気候変動の影響で「大雨」「気温上昇」は皆さんの身近な問題です。

気候変動



竜巻注意情報  
計画的運休  
調節池  
河川風速  
台風10号

記録的大雨  
時間雨量  
気温上昇  
停電  
排水



道路冠水  
土砂災害

外水はん濫



累積雨量

洪水

台風備え

避難所

雨雲レーダー

熱帯低気圧

温暖化の影響  
予想円  
マンホール  
食料  
内水氾濫  
局所的  
観測史上最大



杉並区 豊福中川 旗原公園付近 (旗原二丁目) 松見橋下流

線状降水帯

緊急安全確保

土のう 通行止め

対策としては、河川・下水整備をやってきましたが、それだけでは自然の変化には追い付きません。

そこで、自然の持つ機能（力）も積極的に活用していかなければなりません。

今までの**ハード整備（河川・調節池整備、下水道整備）**と自然の持つ機能（力）を活用する**グリーンインフラの考えを取り入れた対策の両輪**で推進する必要があります。



流域治水とは

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、**河川、下水、堤防の整備、ダム建設・再生など（ハード整備）の対策をより一層加速する**とともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる**流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策**を行う考え方です。

行政（都・区）が行う対策

河川・調節池整備  
下水道整備など

住民・企業・団体・行政  
などが行う対策

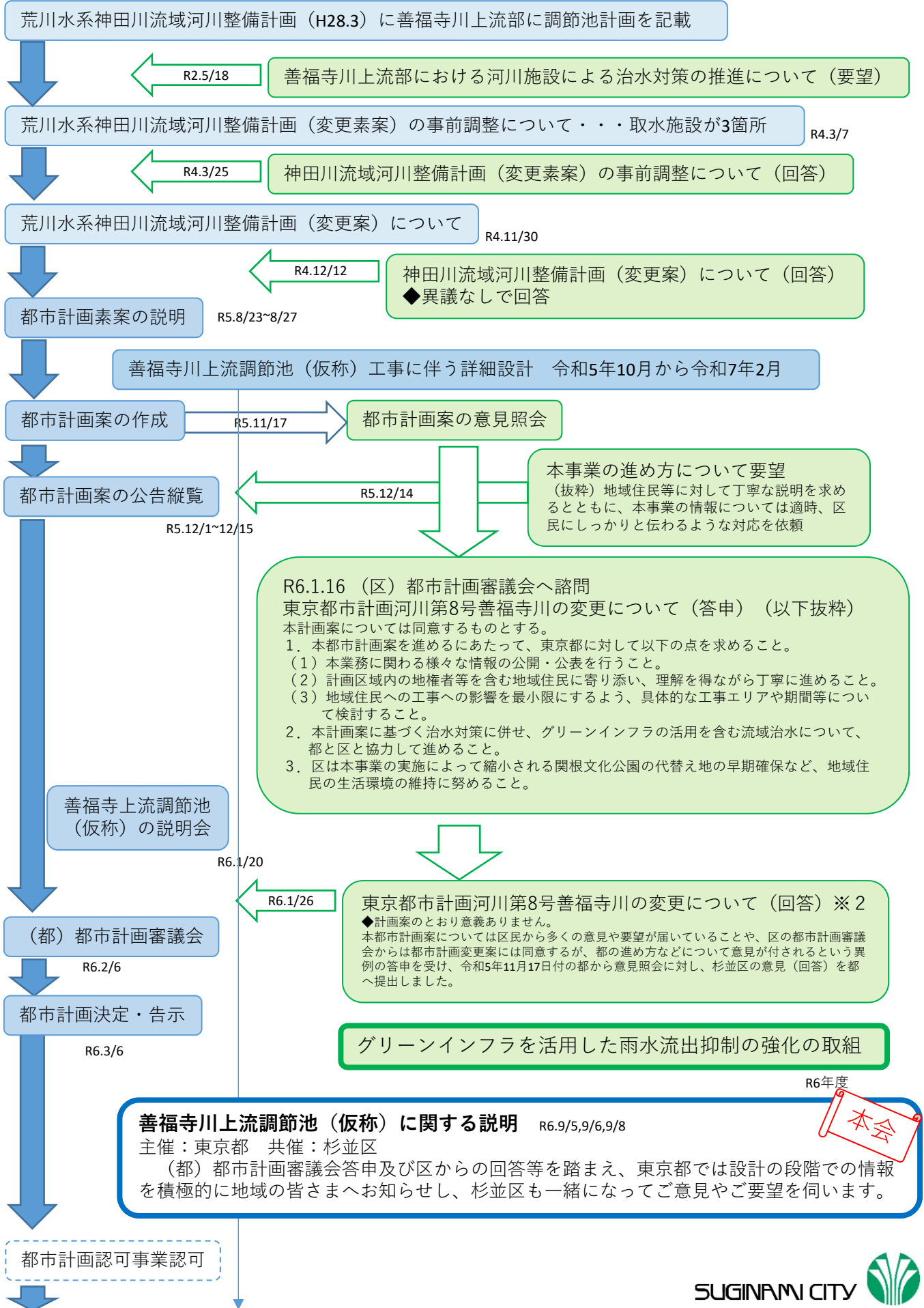
- ・避難対策（ハザードマップの確認）
- ・身近で出来る対策（雨庭など）

出典：「流域治水」の基本的な考え方  
～気候変動を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策～  
国土交通省 水管理・国土保全局 抜粋

# これまでの経緯

東京都

杉並区



# 流域治水

～東京都豪雨基本対策の役割分担～

東京都豪雨対策基本方針  
平成26年6月



東京都豪雨対策基本方針  
令和5年12月（改定）

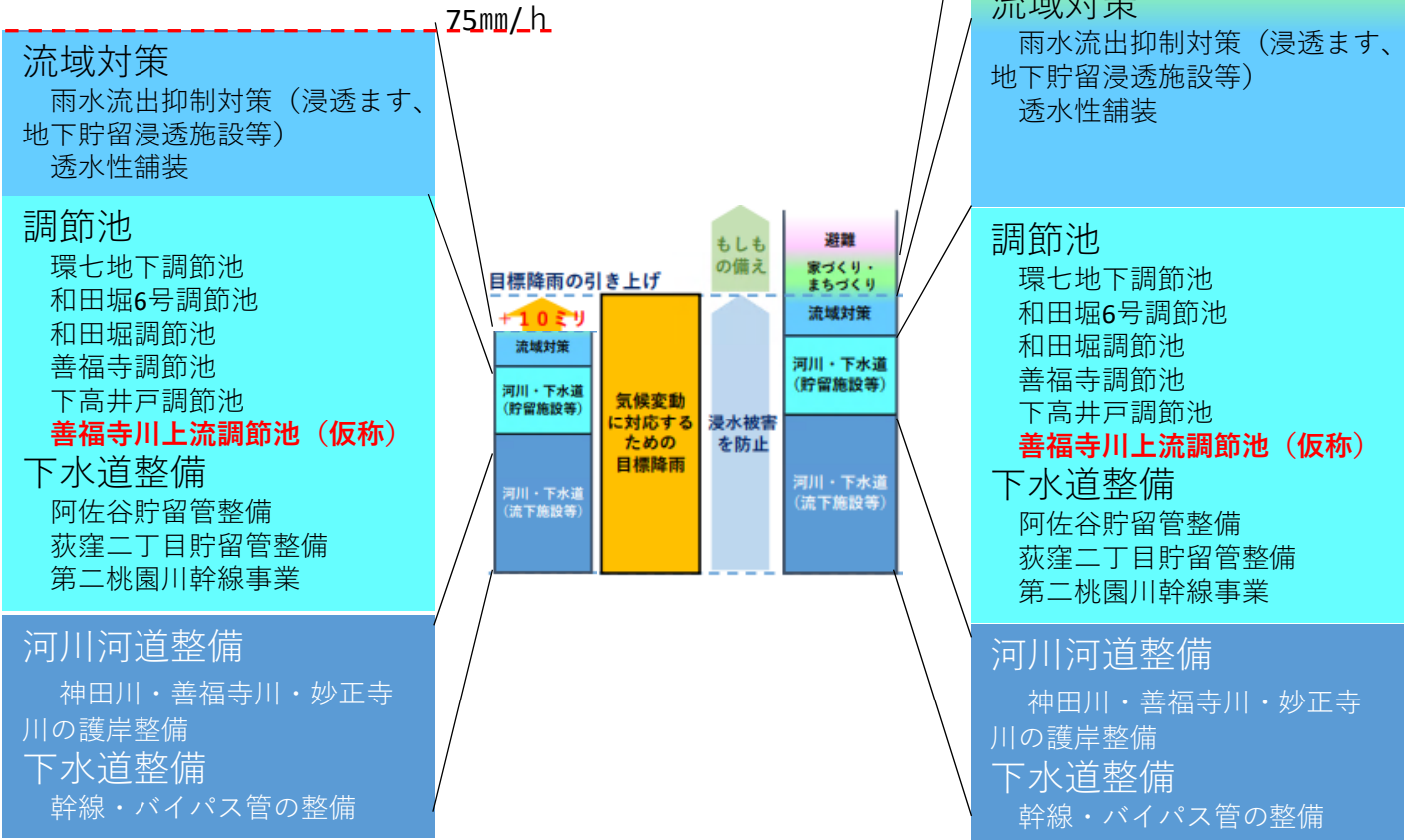
## 【ポイント】

- ・ 気候変動に対応するため目標降雨を引き上げ **+10ミリ**
- ・ これまでの対策の強化に加え、**新たな施策**を展開
- ・ 対策を**先行するエリア**を設定し、都内全域で**段階的に事業展開**
- ・ 目標を超える降雨にも備える（**もしもの備え**）



気候変動に伴う**1.1倍の降雨量**に対応  
気候変動を踏まえ、目標降雨を増加  
**都内全域で +10ミリ**

都内全域で気候変動を踏まえた年超過確率1/20規模相当\*  
※降雨量変化倍率1.1倍を考慮（区部の場合85mm/h）



避難  
水害ハザードマップ  
河川カメラ  
土のうステーション

家づくり・まちづくり  
**グリーンインフラを活用した雨水流出抑制対策**  
(雨庭など)

流域対策  
雨水流出抑制対策（浸透ます、地下貯留浸透施設等）  
透水性舗装

調節池  
環七地下調節池  
和田堀6号調節池  
和田堀調節池  
善福寺調節池  
下高井戸調節池  
**善福寺川上流調節池（仮称）**

下水道整備  
阿佐谷貯留管整備  
荻窪二丁目貯留管整備  
第二桃園川幹線事業

河川河道整備  
神田川・善福寺川・妙正寺川の護岸整備  
下水道整備  
幹線・バイパス管の整備

## 豪雨対策の現状と課題



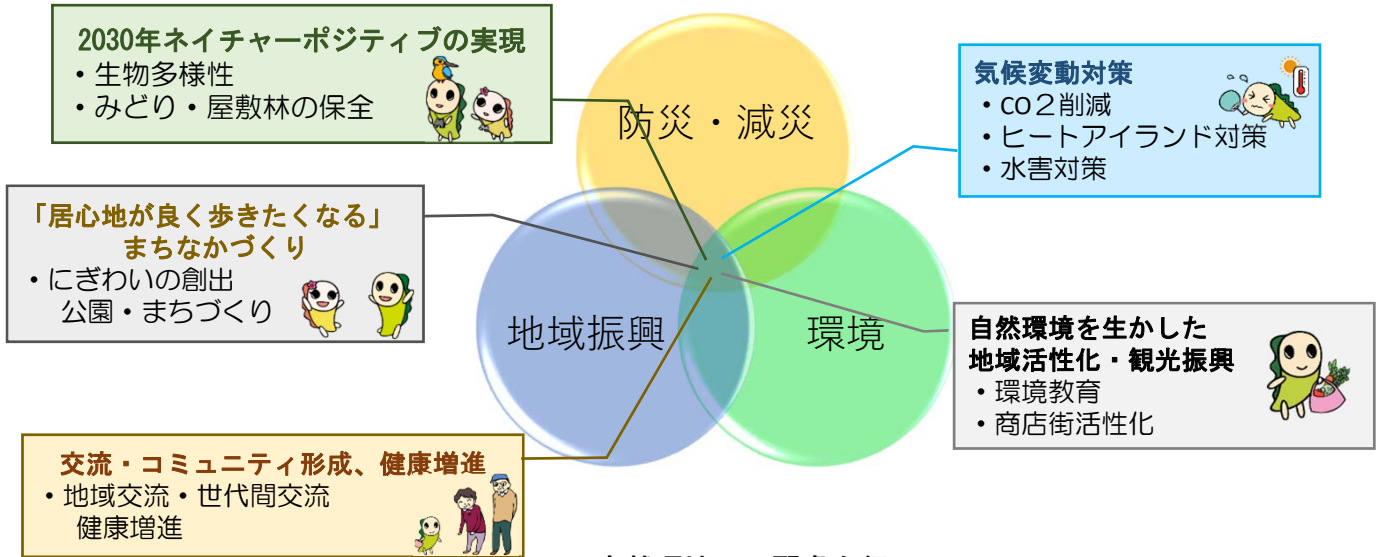
住宅都市杉並の特性に合わせて地域住民などと共に考え治水対策を進める。

★宅地等からの雨水の流出を抑制するグリーンインフラを活用した取組の推進  
★グリーンインフラの推進に必要な区民等との意見交換の機会の創出等

# グリーンインフラとは

まちづくりにおいて、グリーンインフラという考え方が国内外で注目を集めています。生物多様性やカーボンニュートラルといった世界的な環境課題に取り組むため、杉並区においても、積極的にグリーンインフラを活用したまちづくりを進めていきます。

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、**自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進める取組**です。自然が持つ力を活かすことで、環境面でも経済面でもより良いまちづくりが進められます。



自然環境への配慮を行いつつ、自然環境に巧みに関与、デザインすることで、自然環境が有する機能を引き出し、**地域課題に対応する**ことを目的とした社会資本整備

## メリット

- ・グリーンインフラを活用して地域課題に取り組むと、他の様々な効果が同時に得られます。
- ・自然環境を活用することから持続可能性が期待される

# グリーンインフラを活用したビジョン



1-9

# グリーンインフラを活用したビジョン

## 空き地を活用したコミュニティ広場・ガーデン・菜園の設置

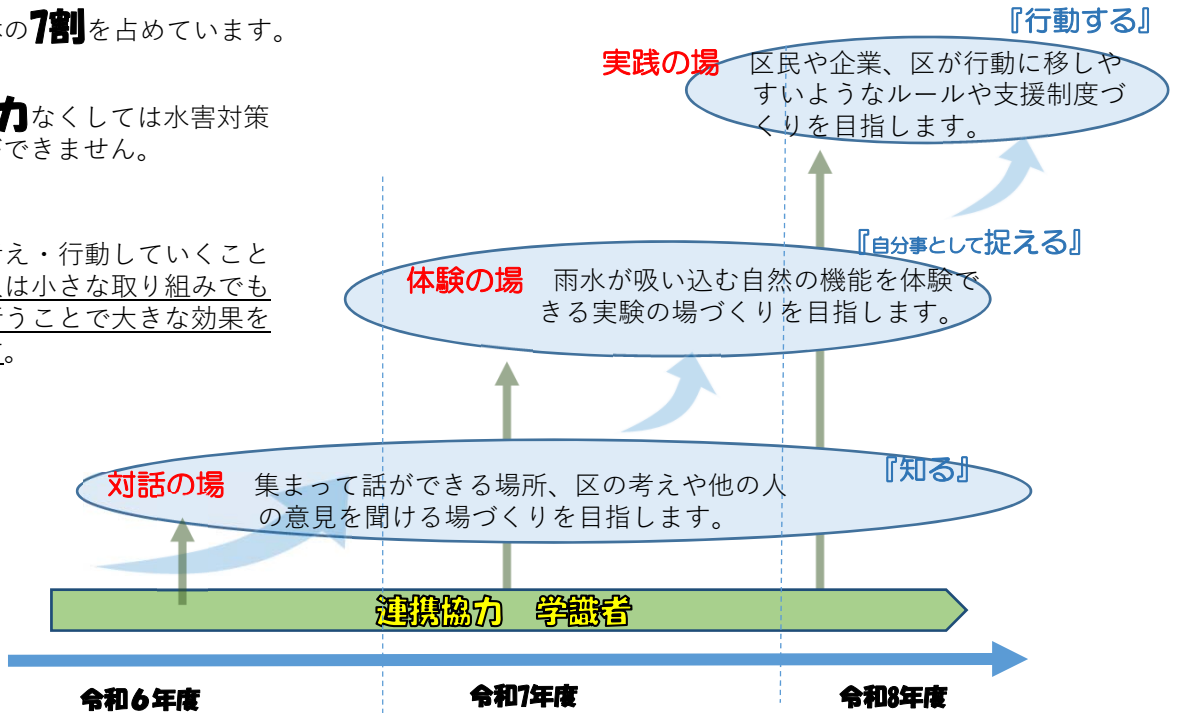


# 杉並区における水害対策の動き ~グリーンインフラを活用した雨水流出抑制の強化~

宅地は区全体の**7割**を占めています。

**区民の協力**なくしては水害対策を行うことができません。

区民と共に考え・行動していくことで、一人一人は小さな取り組みでも、みんなで行うことで大きな効果を期待できます。



## 令和6年度の取組 ~グリーンインフラを活用した雨水流出抑制の強化~

【令和6年5月20日】流域治水の取り組みに関する連携協定  
 強力なパートナーとして、流域治水に関する専門技術の研究や推進に向けた学びの場の提供、住民との新たなコミュニティの形成などに取り組んでいる「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点と連携協定を締結



対話の場

【令和6年7月21日】 **みんなで知ろうグリーンインフラ** 開催 『知る』

区民がグリーンインフラを知るキッカケとし、有識者に聞ける機会をつくりました。グリーンインフラの理解を深めてもらうことを目標にしました。

当日は連携協定を締結した熊本県立大学 特別教授島谷先生により講演をしていただきました。事例や先生の研究活動など分かり易く話をしていただきました。

当日の様子は、区公式HP (右二次元コード)にてご覧いただけます。



▶第1回 みんなで知ろうグリーンインフラ  
 開催場所: 令和6年7月21日(日) 午前9時30分~午後12時15分  
 場 所: 杉並小学校 特別活動室  
 参加者人数: 45名 (応募者: 50名)

▶熊本県立大学 島谷特別教授からの講演

「グリーンインフラって何? 流域治水って何?」について1時間講演



▶意見交換・質問タイム・施設見学

1講7人~8人ずつA演からF演の6席に分かれて、意見交換・質問タイム・施設見学(園庭・雨水池)を実施



# 令和6年度の取組 ～グリーンインフラを活用した雨水流出抑制の強化～

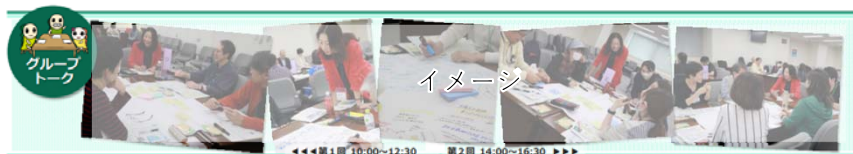
対話の場



## 【令和6年9月7日】 聴クオフ・ミーティング『知る』

### 身近なみどりでできること～グリーンインフラから始める水害対策～

日頃、区政にかかわる機会の少ない方を含め幅広い区民の方に参加していただき、区政への関心を高め理解を深めるとともに、さまざまな意見やアイデアを伺い、今後の区政の参考にしていくものです。



今回のミーティングのキーワードは「気づき」です

令和6年度は、様々な機会を設けて、区民のみなさんにグリーンインフラを「知って」もらう事から始めます。

7年度以降は、「自分の事として捉えて」もらい積極的にご自宅などで取組んでいただけるよう進めてまいります。

グリーンインフラを活用した取組は、その一つ一つが小さな点の取組となりますが、面的に広がっていくことで、水害対策にもなります。

## 【令和6年10月20日】 みんなで知ろうグリーンインフラ第2弾！『知る』

イベント「善福寺川発見2024」と共催予定

### 自然の持つ力とは？「土」に着目します。

雨水の流出を防ぎ、水害の被害を軽減するためには、「土」の浸み込む力を活用します。「土」の浸み込む力を最大限活用するためには、**どんな土の状態**がいいのでしょうか。カエル博士が善福寺公園内の土を使って浸透実験を行います。



## 【令和6年10月以降】 グリーンインフラ推進会議（仮称）

（都）流域対策等強化・推進事業補助を活用 東京都から事業費の補助を受けています。

グリーンインフラや流域治水について、共に考える意見交換を行う機会をつくります。

意見交換会等は、全3回程度を想定しています。区内の治水対策などに関して情報提供を行い、参加者に情報を知っていただいたうえで、意見交換を進めたいと考えていますので、毎回の参加者とする予定です。

- ☆第1回 グリーンインフラ推進会議【令和6年10月予定】  
～杉並区の水の現状を知り、グリーンインフラについて考えよう！～
- ☆第2回 グリーンインフラ推進会議【令和6年12月予定】  
～グリーンインフラをつくってみよう～
- ☆第3回 グリーンインフラ推進会議【令和7年2月予定】  
～杉並区らしいグリーンインフラのビジョンを話し合おう～

グリーンインフラに関わる事業を進めていくために区民と共に考えていく  
**対話の場**です。

## 【令和6年11月9日】 みんなで知ろうグリーンインフラ第3弾！ inすぎなみフェスタ『知る』

ブースによる出展が決定！ 内容を検討中。

## 【令和7年1月下旬】 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業 シンポジウム『知る』

グリーンインフラをテーマに企画中です。

地域の課題を解決するために、自然が持つ多様な機能を活用するグリーンインフラの考えは、善福寺川周辺に棲む水鳥をはじめ多様な生物にどのような影響があるでしょうか。専門家や地域の子供たちの活動発表を通じて考えるキッカケとなるはずです。



区のグリーンインフラに関する情報や取組はここから発信しています！  
区公式HP（右二次元コード）をご覧ください。

